

あずま小学校だより

学校通信 第11号 平成28年10月14日
学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



学力向上に向けて ー全国学力量習状況調査の結果よりー

6年生を対象として4月に行われた「全国学力量習状況調査」の結果が届きましたので、お知らせいたします。

この「全国学力量習状況調査」は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として全学校で行われるものです。内容は、国語と算数・数学、児童・生徒の生活状況に関するアンケートです。

全国学力量習状況調査の結果は、個人カードとして、調査を受けた6年生全員に配布されます。この調査結果を、各家庭でお子さんと話し合っ、家庭での学習の参考として下さい。

全国学力量習状況調査の分析を校内で行った結果、国語では、「漢字を正しく読む、書く」こと、算数では、「四則計算」の分野で正答率が高く、良くできていました。国語・算数の基本的な内容は身につけていると見られます。反面、国語では「読むこと」と「書くこと」、算数では「数量関係」や「図形」の分野について正答率が低く、課題があることが分かりました。また、国語・算数ともにB問題の正答率が低く、活用する力を伸ばしていく必要性を感じました。さらに、問題の後半に行くほど無回答率が高くなることから、問題を解くスピードを高めていくことにも取り組みたいと考えました。

あずま小学校では、今後の学力向上対策として、以下の事項に重点的に取り組んで行きたいと考えております。

対策1:「放課後勉強会」を継続して行います。

「放課後勉強会」を学校全体で実施していきます。月曜日の限られた時間ですが、苦手分野の克服に向けて取り組んで行きたいと思ひます。連絡がありましたら、できる限りの参加をお願いいたします。

対策2:活用力を高める問題に積極的に取り組みます。

パワーアップタイムや単元テストが終わった後の時間を活用して、国語・算数の『活用する力を高める問題』に積極的に取り組ませたいと思ひます。活用する力を問うB問題に対応できる力を養いたたいと思ひます。

対策3:解くスピードアップに取り組むます。

全国学力テストでは、問題数が多く最後まで終了できない様子も見られました。学力テストなどと同じ形式の問題に取り組ませる時間をとり、問題数の多さへの抵抗感をなくしたり、解くスピードも高められるようにしたいと考えています。

対策4:きめ細かな指導体制を継続します。

あずま小学校の良さを生かし、今後も継続してきめ細かく指導していきます。宿題や自主学習に学校全体で取り組んだり、きれいなノート作りに重点的に取り組みます。自主学習ノートや授業ノートのコンクールも継続します。

また、算数の授業では、可能な限りTTや習熟度別学習を取り入れて、個々の児童にきめ細かく対応して、より良い指導が行えるよう努めたいと考えております。